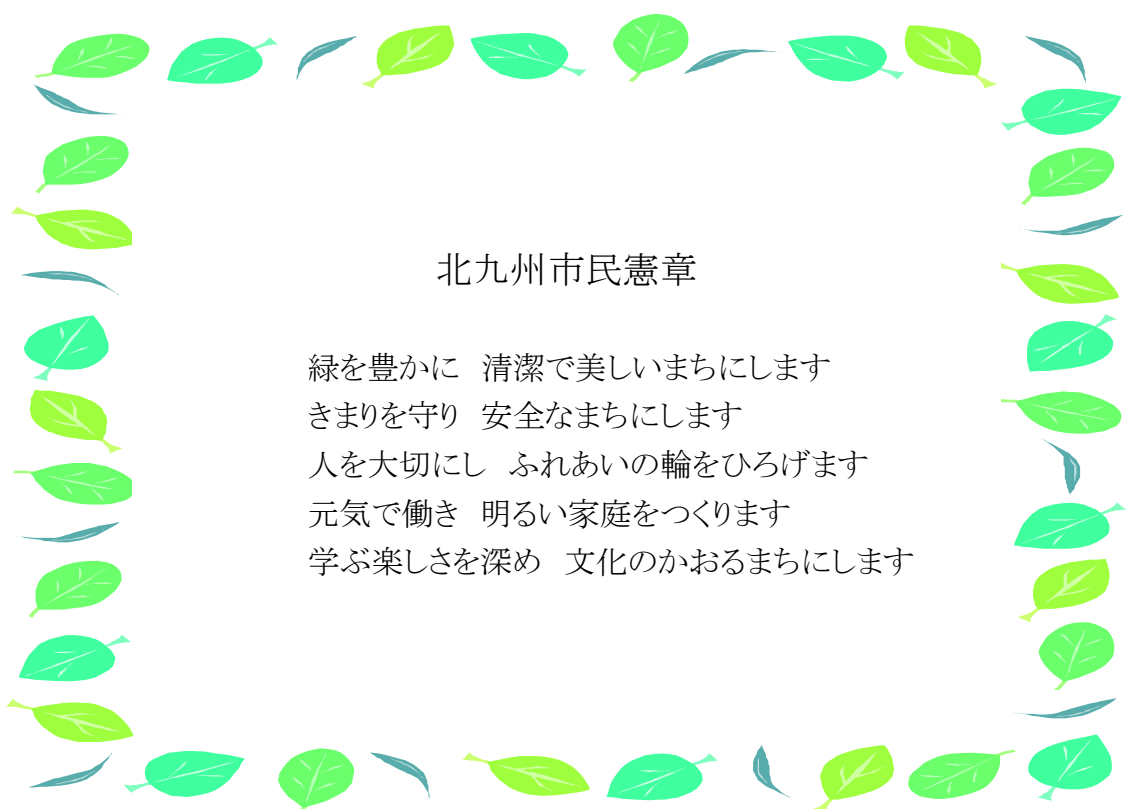


令和3年度版

北九州市衛生統計年報

(令和元年)

北九州市保健福祉局



北九州市民憲章

緑を豊かに 清潔で美しいまちにします
きまりを守り 安全なまちにします
人を大切にし ふれあいの輪をひろげます
元気で働き 明るい家庭をつくれます
学ぶ楽しさを深め 文化のかおるまちにします

目 次

編集について	1
諸率の算出に用いた人口	5
付表 1 死因順位に用いる分類	6
付表 2 乳児死因順位に用いる分類	6

第 1 編 保健統計

第 1 章 人口動態統計

1 北九州市の人口

表 1 区別面積・世帯数・人口	7
表 2 年間人口増減の年次推移	7
表 3 年齢 3 区分別人口・率の年次推移	8

2 概況

—出生の動向—

図 1 出生率の年次推移（北九州市—全国）	9
図 2 合計特殊出生率の年次推移	9
図 3 出生数及び低体重児（2500g未満）の出生割合（母の年齢）	10
図 4 出生数の年次推移（母の年齢）	10
図 5 出生数及び出生率（区）	11
図 6 出生率（全国—福岡県—21大都市）	11

—死亡の動向—

図 7 死亡率の年次推移（北九州市—全国）	12
図 8 3 大死因の年次推移	12
図 9 主要死因の割合	13
図 10 死亡の場所の年次推移	13
図 11 悪性新生物の死亡率の年次推移（性・主要部位）	14
図 12 悪性新生物の部位別死亡割合	14
図 13 死亡数（主要死因・区）	15
図 14 死亡率（全国—福岡県—21大都市）	15

—乳児死亡の動向—

図 15 乳児死亡率の年次推移（北九州市—全国）	16
図 16 乳児死亡数（性・区）	16
図 17 生存期間別乳児死亡率（全国—福岡県—21大都市）	16

—死産の動向—

図 18 死産率の年次推移（北九州市—全国）	17
------------------------	----

図19	自然死産率及び人工死産率の年次推移	17
図20	死産の割合（妊娠週数）	18
図21	死産の割合（母の年齢）	18
図22	死産数（自然－人工・区）	18
図23	死産数（母の年齢・区）	19
図24	死産率（全国－福岡県－21大都市）	19
—周産期死亡の動向—		
図25	周産期死亡率の年次推移（北九州市－全国）	20
図26	妊娠満22週以後の死産率及び早期新生児死亡率の年次推移	20
図27	周産期死亡数（性・区）	21
図28	周産期死亡数（母の年齢・区）	21
図29	周産期死亡率（全国－福岡県－21大都市）	21
—婚姻の動向—		
図30	婚姻率の年次推移（北九州市－全国）	22
図31	婚姻数の年次推移（妻の年齢）	22
図32	婚姻率（全国－福岡県－21大都市）	22
—離婚の動向—		
図33	離婚率の年次推移（北九州市－全国）	23
図34	離婚数（区）	23
図35	離婚件数割合（同居期間）	23
図36	夫妻が親権を行わなければならない子の数 （子は未成年に限る）（夫－妻・区）	24
図37	離婚率（全国－福岡県－21大都市）	24
3	総覧	
表4	人口動態統計の前年比較	25
表5	人口動態総覧（実数・区）	26
表6	人口動態総覧（率・区）	26
表7	人口動態の年次推移	28
4	出生	
表8	出生数（母の年齢・区）	30
表9	出生数（出生順位・区）	30
表10	出生数（場所・立会者・区）	31
表11	低体重児（2500g未満）の出生数及び割合（性・区）	31
表12	出生数（区・出生時の体重・性）	32
表13	出生数（妊娠週数・出生時の体重・性）	33
表14	出生数（母の年齢・出生時の体重・性）	34
表15	出生数（出生順位・出生時の体重・性）	35
表16	出生数（単胎－多胎・性・区）	36

5	死亡	
	表17	死亡数・率及び割合（死因順位・前年比較）…………… 37
	表18	死亡数（主要死因・区）…………… 37
	表19	死亡数（場所・区）…………… 38
	表20	悪性新生物の死亡率（年次・性・主要部位）…………… 38
	表21	死因順位（区）…………… 39
	表22	主な死因の死亡数及び人口10万対死亡率（全国－21大都市）…………… 39
	表23	男性の死因順位（年齢）…………… 40
	表24	女性の死因順位（年齢）…………… 41
	表25	死亡数（死因・年齢・性）…………… 42
	表26	死亡数（区・年齢・性）…………… 56
	表27	死亡数（選択死因分類・性）…………… 57
6	乳児死亡	
	表28	乳児死亡数（区・週齢一月齢・性）…………… 58
	表29	乳児死亡数（乳児死因・週齢一月齢・性）…………… 59
7	死産	
	表30	死産数及び率（自然－人工・区）…………… 62
	表31	死産数（妊娠週数・自然－人工・区）…………… 62
	表32	死産数（場所・自然－人工・区）…………… 63
	表33	死産数（母の年齢・自然－人工・区）…………… 63
8	周産期死亡	
	表34	周産期死亡数 （区・妊娠週数・妊娠満22週以後の死産－早期新生児死亡）…………… 64
	表35	周産期死亡数 （区・出生時の体重・妊娠満22週以後の死産－早期新生児死亡）…………… 65
	表36	周産期死亡数－総数－（母の年齢・出生時の体重・性）…………… 66
	表37	周産期死亡数－妊娠満22週以後の死産－ （母の年齢・出生時の体重・性）…………… 67
	表38	周産期死亡数－早期新生児死亡－ （母の年齢・出生時の体重・性）…………… 68
	表39	周産期死亡数－総数－（妊娠週数・出生時の体重・性）…………… 69
	表40	周産期死亡数－妊娠満22週以後の死産－ （妊娠週数・出生時の体重・性）…………… 70
	表41	周産期死亡数－早期新生児死亡－（妊娠週数・出生時の体重・性）…………… 71
	表42	周産期死亡数－病態－ （妊娠週数・妊娠満22週以後の死産－早期新生児死亡）…………… 72
9	婚姻	
	表43	婚姻数（夫－妻・年齢）…………… 73
	表44	婚姻数（夫－妻・初婚－再婚・区）…………… 73

表45	平均婚姻年齢（夫一妻・初婚一再婚・区）	73
10	離婚	
表46	離婚数（種類・区）	74
表47	離婚数（種類・同居期間）	74
表48	離婚数（夫一妻・年齢）	74
表49	離婚数（同居期間・夫一妻・年齢）	75
表50	夫妻が親権を行わなければならない子の数 （子は未成年に限る）（夫一妻・区）	75
表51	離婚数（未成年の子の数・夫一妻・区）	76
第2章	母体保護統計	
表1	不妊手術件数（年齢・事由・男一女）	77
表2	人工妊娠中絶件数（年齢・事由・妊娠週数）	78
第3章	病院報告	
表1	患者数及び病床数の年次推移	79
表2	病院報告総括表	80
表3	病院数及び病床数（種類・区・開設者）	81
表4	病院の利用状況	82
表5	病床の利用状況	82
表6	病床規模別病院数	83
表7	病床数（病院種類・病床種類・区）	84
表8	病院数（種類・区）	84
第4章	医療施設調査	
表1	施設数・病床数の前年比較	85
表2	施設数の年次推移（人口10万人対施設数・施設あたり人口）	86
表3	病床数の年次推移（人口10万人対病床数・1床あたり人口）	86
表4	医療施設数及び病床数の年次推移	87
表5	区別施設数及び病床数の年次推移（病院）	87
表6	区別施設数及び病床数の年次推移（一般診療所）	88
表7	区別施設数の年次推移（歯科診療所）	88
表8	医療施設数（施設の種類・区）	89
表9	人口10万対医療施設数（施設の種類・区）	89
表10	医療施設別病床数（病床の種類・区）	89
表11	人口10万対病床数（病床の種類・区）	89
表12	医療施設数（開設者・区・病院—一般診療所—歯科診療所）	90
表13	診療科目別施設延数（病院—一般診療所—歯科診療所・区）	91

第5章 感染症及び食中毒統計

1 感染症統計

表1 感染症患者数及び罹患率（病類・年次）	92
表2 結核登録者の状況	94
表3 結核登録者の年次推移（平成26年～令和元年）	95

2 食中毒統計

表4 食中毒事件及び患者数（病因物質）	96
表5 食中毒事件及び患者数（原因施設・原因食品）	97
当市で発生した食中毒事例	98

第2編 事業統計

第1章 母子保健

1 妊婦健診等

表1 妊娠届出及び母子健康手帳交付	100
表2 妊婦健診等	100

2 乳幼児健診

表3 先天性代謝異常	101
表4 先天性甲状腺機能低下症	101
表5 4か月児健康診査	102
表6 4か月児健康診査・受診結果	102
表7 7か月児健康診査	103
表8 7か月児健康診査・受診結果	103
表9 1歳6か月児健康診査	104
表10 1歳6か月児健康診査・受診結果	104
表11 3歳児健康診査	105
表12 3歳児健康診査・受診結果	105
表13 3歳児視聴覚健康診査	105

3 一般精密健診

表14 一般精密健診	106
------------	-----

4 保健指導

表15 母親教室等	107
表16 妊産婦保健指導（個別）	107
表17 育児学級等	108
表18 乳幼児保健指導（個別）	109
表19 訪問指導	109

5 療育等

表20 小児慢性特定疾患治療研究事業	110
--------------------	-----

表21	育成医療	110
表22	未熟児養育医療	110
6	歯科保健	
表23	歯科検診	111
表24	予防措置（フッ化物塗布）	111
第2章 成人保健		
1	基本健康診査	
表1	健康手帳	112
2	北九州市国民健康保険特定健診・特定保健指導	
表2	特定健診受診状況	113
表3	特定健診受診者及び特定保健指導区分別状況	113
表4	内臓脂肪症候群等該当者数	114
表5	主な健診結果による有病者数	115
3	がん検診	
表6	胃がん検診	116
表7	結核・肺がん検診	117
表8	大腸がん検診	118
表9	乳がん検診	119
表10	子宮がん検診	119
表11	肝炎ウイルス検査	120
4	歯科保健	
表12-1	歯周病（歯周疾患）検診	121
表12-2	歯周病（歯周疾患）検診受診結果	121
5	保健指導	
表13	健康教育	122
表14	健康相談	122
表15	訪問指導	123
6	健康増進	
表16	栄養・運動指導等	124
表17	給食施設等指導	124
第3章 精神保健福祉		
1	措置等	
表1	精神障害者申請・通報・届出状況	125
表2	精神障害者措置入院・仮退院状況	125
表3	医療保護入院・応急入院届出状況	125
表4	自立支援医療（精神通院医療）	126
表5	精神障害者保健福祉手帳台帳登載数	126

2	保健指導	
	表6 相談・デイケア・訪問指導	127
	表7 精神保健福祉相談	127
	表8 精神保健福祉訪問指導	127
3	技術支援等	
	表9 精神保健福祉センターの支援機関別・内容別支援件数	128
	表10 精神保健福祉センターの支援先別支援件数	128
	表11 普及啓発	129
	表12 精神保健福祉センターでの教育研修	129
	表13 組織育成	129
	表14 精神保健福祉センターで行った主な講演一覧 (普及啓発・教育研修等)	130
第4章 結核・感染症		
1	結核予防	
	表1 健康診断及び予防接種	131
2	感染症予防	
	表2 予防接種	132
	表3 エイズ	133
第5章 難病		
	表1 難病（特定医療費（指定難病）受給者証所持者数）－総数	134
第6章 医務・薬務		
	表1 医療法人	137
	表2 医療監視	137
	表3 薬事監視	138
	表4 毒物劇物監視	138
第7章 食品衛生		
1	監視指導等	
	表1 食品衛生業務実績総括表	139
	表2 許可を要する食品関係営業施設数	140
	表3 許可を要しない食品関係営業施設数	141
	表4 食品関係営業施設数（再掲・条例関係施設）	141
	表5 監視指導等（要許可施設）	142
	表6 監視指導等（不要許可施設）	142
	表7 監視指導等（再掲・条例関係施設）	142

2	衛生教育		
	表 8	衛生教育実施状況	144
3	相談等		
	表 9	食品苦情相談件数	144
第 8 章 環境衛生			
1	監視指導等		
	表 1	環境衛生監視指導等総括表	145
	表 2	環境衛生関係施設数	146
2	衛生教育		
	表 3	衛生教育実施状況	147
3	相談等		
	表 4	環境衛生苦情相談件数	147
4	その他		
	表 5	火葬及び改葬許可件数	147
第 9 章 試験検査			
1	試験検査		
	表 1	細菌学的検査	148
	表 2	水質検査	148
	表 3	臨床学的検査	149
2	食品衛生関係試験検査		
	表 4	食品等の収去試験	150
	表 5	乳の収去試験	151
3	環境衛生関係試験検査		
	表 6	環境衛生関係検査状況	152
	表 7	家庭用品試買検査状況	152
第10章 食肉センター事業			
	表 1	と畜頭数及びと畜検査における処分	153
	表 2	食鳥検査羽数及び食鳥検査における処分羽数	153
	表 3	BSEスクリーニング検査結果	153
第11章 動物管理事業			
	表 1	犬関係	154
	表 2	ねこ関係	154

編集について

本年報は令和元年中に北九州市が取り扱った保健統計（人口動態・病院報告・医療施設調査など。ただし、母体保護統計は令和元年度分を収録）及び令和元年度の事業統計（母子保健・成人保健など）を収録したものである。

保健統計

1. 統計の種類

(1) 人口動態統計

ア 北九州市に住所を有する日本人の日本における事件発生のうち、平成31年1月1日から令和元年12月31日の間に事件が発生したものであって、令和2年1月14日までに届け出られたものを集計したものである。

イ 用語の解説

自然増加	出生数から死亡数を減じたもの
乳児死亡	生後1年未満の死亡
新生児死亡	生後4週未満の死亡
早期新生児死亡	生後1週未満の死亡
死産	妊娠満12週以後の死児の出産 ※死児とは、出生後において心臓搏動、随意筋の運動及び呼吸のいずれも認めないものをいう。
自然死産と人工死産	人工死産とは、胎児の母体内生存が確実であるときに、人工的措置（胎児または付属物に対する措置及び陣痛促進剤の使用）を加えたことにより、死産に至った場合をいい、それ以外はすべて自然死産という。なお、人工的措置を加えた場合でも、次のものは自然死産という。 1) 胎児を出生させることを目的とした場合 2) 母体内の胎児が生死不明か、または死亡している場合
周産期死亡	妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡をあわせたもの

(2) 母体保護統計

この統計は母体保護法の規定に基づいて医師または指定医師から報告される「不妊手術実施報告書」及び「人工妊娠中絶実施報告書」をもとにして作成したものである。

(3) 病院報告

この統計は医療法施行規則に基づき、毎月病院管理者から提出される報告を集計したものである。

(4) 医療施設調査

令和元年10月1日現在において、医療法に基づき許可または届出されている病院・診療所・歯科診療所（保健所は除く）を対象として実施された医療施設静態調査の結果を集計したものである。

(5) 感染症及び食中毒統計

この統計は医師から届出された感染症及び食中毒の患者について集計したものである。

2. 比率の算出方法

この年報で用いた比率の算出方法は次のとおりである。なお、グラフ及び表中の率並びに率の合計は、端数処理上多少の誤差を生じることがある。

(1) 人口動態統計

$$\text{出生率} = \frac{\text{年間出生数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

$$\text{合計特殊出生率} = \left\{ \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}} \right\} \text{ 15歳から49歳までの合計}$$

$$\text{死亡率} = \frac{\text{年間死亡数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

$$\text{乳児死亡率} = \frac{\text{年間乳児死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$\text{新生児死亡率} = \frac{\text{年間新生児死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$\text{自然増加率} = \frac{\text{自然増加数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

$$\text{死産率} = \frac{\text{年間死産数}}{\text{年間出産数 (出生数+死産数)}} \times 1,000$$

$$\text{自然死産率} = \frac{\text{年間自然死産数}}{\text{年間出産数 (出生数+死産数)}} \times 1,000$$

$$\text{人工死産率} = \frac{\text{年間人工死産数}}{\text{年間出産数 (出生数+死産数)}} \times 1,000$$

$$\text{周産期死亡率} = \frac{\text{年間周産期死亡数}}{\text{出生数+妊娠満22週以後の死産数}} \times 1,000$$

$$\begin{aligned} \text{妊娠満22週以後の死産率 (総数・自然・人工)} \\ = \frac{\text{年間妊娠満22週以後の死産数 (総数・自然・人工)}}{\text{出生数+妊娠満22週以後の死産数}} \times 1,000 \end{aligned}$$

$$\text{早期新生児死亡率} = \frac{\text{年間早期新生児死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$$

$$\text{婚姻率} = \frac{\text{年間婚姻届出件数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

$$\text{離婚率} = \frac{\text{年間離婚届出件数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 1,000$$

$$\text{死因別死亡率} = \frac{\text{年間死因別死亡数}}{\text{10月1日現在日本人人口}} \times 100,000$$

$$\text{平均婚姻年齢} = \frac{\text{届出時月齢総計}}{\text{年間婚姻届出件数}} \times 1/12$$

※令和元年に結婚生活に入り届け出たもの

(2) 病院報告

$$\begin{aligned} \text{1日平均在院患者数} &= \frac{\text{年間在院患者延数}}{\text{年間日数}} \\ \text{1日平均新入院患者数} &= \frac{\text{年間新入院患者数}}{\text{年間日数}} \\ \text{1日平均退院患者数} &= \frac{\text{年間退院患者数}}{\text{年間日数}} \\ \text{1日平均外来患者数} &= \frac{\text{年間外来患者延数}}{\text{年間日数}} \\ \text{年間病床利用率} &= \frac{\text{1日平均在院患者数}}{\text{6月末病床数}} \times 100 \\ \text{平均在院日数} &= \frac{\text{年間在院患者延数}}{1/2 \times (\text{年間新入院患者数} + \text{年間退院患者数})} \end{aligned}$$

(3) 感染症統計

$$\text{罹患率} = \frac{\text{年間届出患者数}}{\text{10月1日現在人口}} \times 100,000$$

3. 諸率の算出に用いた人口

- (1) 人口動態統計 令和元年10月1日現在日本人推計人口
資料：「福岡県人口移動調査」より
- (2) その他の統計 令和元年10月1日現在北九州市推計人口
資料：企画調整局政策部企画課より

※ 国、県及び他都市が公表する率とは、算定に用いた人口が異なるため合致しない事がある。

4. 表章記号の規約

計数のない場合	—
計数不明の場合又は計数を表章することが不適當な場合	…
統計項目のあり得ない場合	•
比率が0.05未満の場合	0.0

事業統計

地域保健・健康増進事業報告、衛生行政報告例などをもとに、各種事業の統計を11章に分類したものである。項目などの記述については厚生労働省の報告様式に準じたが、一部には独自のものをを用いた。

1. 表章記号の規約

計数のない場合	—
計数不明の場合又は計数を表章することが不適當な場合	…
統計項目のあり得ない場合	・
比率が0.05未満の場合	0.0

ホームページによる閲覧

北九州市保健福祉局 保健衛生部 医務薬務課ホームページでは、本年報のデータを掲載しており、統計表の閲覧を可能としている。

【北九州市ホームページURL】

<http://www.city.kitakyushu.lg.jp>

(訂正や追加情報等は上記ホームページを参照のこと)

〒802-8560

北九州市小倉北区馬借一丁目7番1号

北九州市保健福祉局 保健衛生部 医務薬務課

TEL 093-522-8726 FAX 093-522-8774

諸率の算出に用いた人口

－人口動態統計－

北九州市の日本人推計人口

区	総数	男	女
北九州市	928,536	437,323	491,213
門司区	94,076	42,973	51,103
小倉北区	178,484	83,569	94,915
小倉南区	207,490	98,610	108,880
若松区	79,333	37,580	41,753
八幡東区	64,311	30,199	34,112
八幡西区	248,080	116,725	131,355
戸畑区	56,762	27,667	29,095

(令和元年10月1日現在)

北九州市の 日本人女子人口 (5歳階級別)

年齢	推計人口
15～19歳	20,762
20～24	21,408
25～29	19,171
30～34	21,464
35～39	25,601
40～44	29,966
45～49	33,880

(令和元年10月1日現在)

※上記の2表及び下記の65歳以上推計人口は、福岡県企画・地域振興部調査統計課「福岡県人口移動調査」による

－その他の統計－

北九州市の推計人口

区	総数	男	女
北九州市	940,141	443,619	496,522
門司区	94,844	43,394	51,450
小倉北区	182,403	85,597	96,806
小倉南区	209,041	99,441	109,600
若松区	80,550	38,362	42,188
八幡東区	65,058	30,605	34,453
八幡西区	250,779	118,182	132,597
戸畑区	57,466	28,038	29,428

(令和元年10月1日現在)

北九州市の 65歳以上推計人口

区	推計人口
北九州市	288,355
門司区	35,338
小倉北区	51,969
小倉南区	59,569
若松区	25,873
八幡東区	23,509
八幡西区	74,181
戸畑区	17,916

(令和元年10月1日現在)

資料: 企画調整局政策部企画課

付表1 死因順位に用いる分類

疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正(ICD-10)準拠による

死因分類コード	分類名	死因分類コード	分類名
01100	腸管感染症	10100	インフルエンザ
01200	結核	10200	肺炎
01300	敗血症	10300	急性気管支炎
01400	ウイルス性肝炎	10400	慢性閉塞性肺疾患
01500	ヒト免疫不全ウイルス〔HIV〕病	10500	喘息
02100	悪性新生物<腫瘍>	11100	胃潰瘍及び十二指腸潰瘍
02200	その他の新生物<腫瘍>	11200	ヘルニア及び腸閉塞
03100	貧血	11300	肝疾患
04100	糖尿病	12000	皮膚及び皮下組織の疾患
05100	血管性及び詳細不明の認知症	13000	筋骨格系及び結合組織の疾患
06100	髄膜炎	14100	糸球体疾患及び腎尿細管間質性疾患
06200	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	14200	腎不全
06300	パーキンソン病	15000	妊娠、分娩及び産じょく
06400	アルツハイマー病	16000	周産期に発生した病態
07000	眼及び付属器の疾患	17000	先天奇形、変形及び染色体異常
08000	耳及び乳様突起の疾患	18100	老衰
09100	高血圧性疾患	18200	乳幼児突然死症候群
09200	心疾患(高血圧性心疾患を除く)	20100	不慮の事故
09300	脳血管疾患	20200	自殺
09400	大動脈瘤及び解離	20300	他殺

付表2 乳児死因順位に用いる分類

疾病及び関連保健問題の国際統計分類第10回修正(ICD-10)準拠による

乳幼児 死因分類コード	分類名	乳幼児 死因分類コード	分類名
Ba01	腸管感染症	Ba19	喘息
Ba02	敗血症	Ba20	ヘルニア及び腸閉塞
Ba03	麻疹	Ba21	肝疾患
Ba04	ウイルス肝炎	Ba22	腎不全
Ba06	悪性新生物	Ba24	妊娠期間及び胎児発育に関連する障害
Ba09	その他の新生物	Ba25	出産外傷
Ba10	栄養失調症及びその他の栄養欠乏症	Ba26 - Ba30	周産期に特異的な呼吸障害及び心血管障害
Ba11	代謝障害	Ba31 - Ba32	周産期に特異的な感染症
Ba12	髄膜炎	Ba33	胎児及び新生児の出血性障害及び血液障害
Ba13	脊髄性筋萎縮症及び関連症候群	Ba35	先天奇形、変形及び染色体異常
Ba14	脳性麻痺	Ba44	乳幼児突然死症候群
Ba15	心疾患(高血圧性心疾患を除く)	Ba46	不慮の事故
Ba16	脳血管疾患	Ba55	他殺
Ba17	インフルエンザ		
Ba18	肺炎		